

# 平成7年度土壌改良剤試験成績書

## 1. 耕種名

品種：はえぬき 育苗様式：中苗折衷育苗 田植月日：5月10日  
播種量：120g/箱 栽培密度：21.2本/m<sup>2</sup> 田植機：乗用田植機

## 2. 土づくり

試験田：堆肥1t + 土壌改良剤テラオストーン(5月下旬散布)  
慣行田：堆肥1t

## 3. 施肥料

項目	肥料名	施肥月日	施肥量	成分			備考
				N	P	K	
基肥	尿素複合777	4/27	40.0kg	6.8	6.8	6.8	追肥割合 25.3kg
追肥	NK化成50	7/15	15.0kg	2.3		2.3	
穂肥							
合計			55.0kg	9.1	6.8	9.1	

肥料設計は、試験田、慣行田とも同じ肥料名、同じ成分量です。

## 4. 除草体系

散布月日	除草剤名	散布量
5/23	ザーク粒剤	3kg/10a

## 5. 防除体系

散布月日	薬剤名	散布量
6/20	刈りメト剤	3kg/10a
8/15	ビーム混合	3kg/10a

## 6. 作溝

7/1作溝機使用 2.4m間隔

## 7. 生育調査

	項目	6/1	6/10	6/20	7/1	7/10	7/20	考察
試験田	草丈	25.0	26.8	31.4	47.0	58.1	67.9	最高分けつ期 7 / 1
	茎数	125	289	438	629	590	575	根の活力
	葉令	4.9	6.5	7.9	9.1	10.5	11.7	葉色 良
試験田	草丈	24.2	25.5	30.2	46.0	57.8	68.2	最高分けつ期 1 / 1
	茎数	119	265	420	623	572	565	根の活力 並
	葉令	4.8	6.2	7.8	9.0	10.3	11.5	葉色 並

## 8. 成熟期、収量調査

区	出穂期	かん長	穂長	穂数	玄米重	病害虫	倒伏度
試験区	8/11	72.5	17.0	530.5	580.0	無	0
慣行区	8/11	70.2	16.8	510.5	558.5	無	0

## 9. 考察

- \* 茎数は慣行区より試験区の方が多く経過し、葉令も若干多かった。
- \* 根の張りかたは試験区の方が根良も多く良かった。
- \* かん長、穂長、穂数も試験区の方が良かった。
- \* 収量は慣行区に比べ試験区が4%程度多かった。
- \* 品質は両区とも1等米で出荷した。

以上が現在の試験状況であるが、その後の研究により

15kg ~ 30kg / 10a当

が適量であるとの結果が出てきたので付け加えます。